

令和 6 年度新発田市下水道事業経営戦略の進捗管理について

1. 下水道事業経営戦略と進捗管理（モニタリング）

(1) 経営戦略の進捗管理実施の趣旨について

経営戦略は、国が公営企業の健全化策の一つとして市町村に策定を義務付けているもので、事業実施計画と投資財政計画によって効率的で健全な企業経営を目指すことを目的としています。

本市では、平成 30 年度に「新発田市下水道事業経営戦略」及び「新発田市農業集落排水事業経営戦略」を策定し、その後、平成 31 年 4 月に下水道事業が地方公営企業法の一部を適用したことに伴って経営戦略の見直しを行い、本市で実施している 4 事業（公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、小規模集合排水処理事業）を対象とした「新発田市下水道事業経営戦略」を令和 6 年度に改定しました。

国が経営戦略の策定にあたって作成したガイドラインにおいて、経営戦略の進捗管理（モニタリング）と計画の見直し（ローリング）を行うことを求めており、進捗管理は毎年度、見直しについては少なくとも 5 年に 1 回の頻度で行うこととされています。これは、計画の進捗管理を確認していくことにより、経営方針の見直しや改善策の実施につなげ、より実効性のある経営計画としていくというものです。

(2) モニタリングの方法

モニタリングについては、以下の①～③の方法により分析を行いました。

- ① 「2. 下水道事業の概況」において、経営戦略で示した下水道処理等に係る人口の推移、使用料収入や汚水処理に係る値の比較検証を行いました。
- ② 「3. 投資・財政計画の計画値と決算値の比較」において令和 6 年度決算値（合算会計）と経営戦略の投資・財政計画に記した計画値との比較を行い、「4. 投資・財政計画の主な項目の推移」において主な項目ごとの検証を行いました。
- ③ ①②の内容を踏まえ、「5. 経営戦略の目標指標の状況」において経営戦略に設定した目標指標の達成状況を検証し、最後に「6. 総括」として全体のまとめを行いました。

2. 下水道事業の概況

(1)人口（行政人口及び污水处理に係る人口）の推移について

①行政人口

住民基本台帳に基づく人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	91,370	90,464	89,558	88,652	87,746
実績値	91,157				

②污水处理人口

下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽等の污水处理施設の処理人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	78,248	78,550	79,064	79,098	79,164
実績値	78,638				

③污水处理人口（集合処理に係る分）

②污水处理人口のうち、下水道、農業集落排水施設等の集合処理に係る処理人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	70,645	71,147	71,861	72,096	72,362
実績値	70,690				

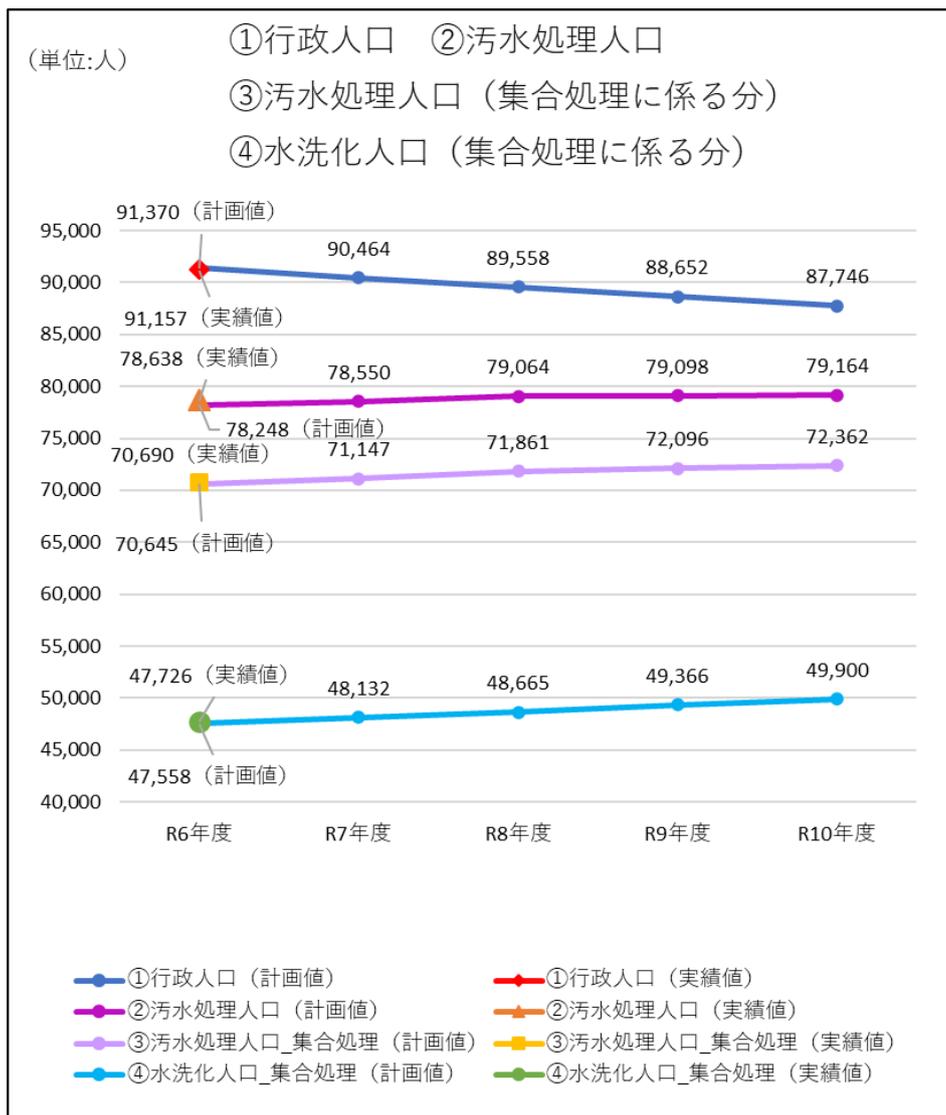
④水洗化人口（集合処理に係る分）

下水道、農業集落排水施設等の集合処理に接続している人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値（合算）	47,558	48,132	48,665	49,366	49,900
※内訳（公共）	36,060	36,536	37,755	38,408	38,900
（特環）	7,345	7,480	7,573	7,650	7,723
（農排）	4,133	4,096	3,317	3,288	3,258
（小排）	20	20	20	20	19
実績値（合算）	47,726				
※内訳（公共）	36,142				
（特環）	7,488				
（農排）	4,074				
（小排）	22				

※①～④とも年度末時点の値



【説明】

行政人口が計画値を下回る一方で、汚水処理人口と水洗化人口は計画値を上回りました。下水道未普及整備工事の進展に伴い整備区域が拡大しているため、水洗化人口も増加しています。全体としては、おおむね計画値と同水準の値ですが、人口数は使用料収入の増減に影響するため、引き続き今後の推移を注視していきます。

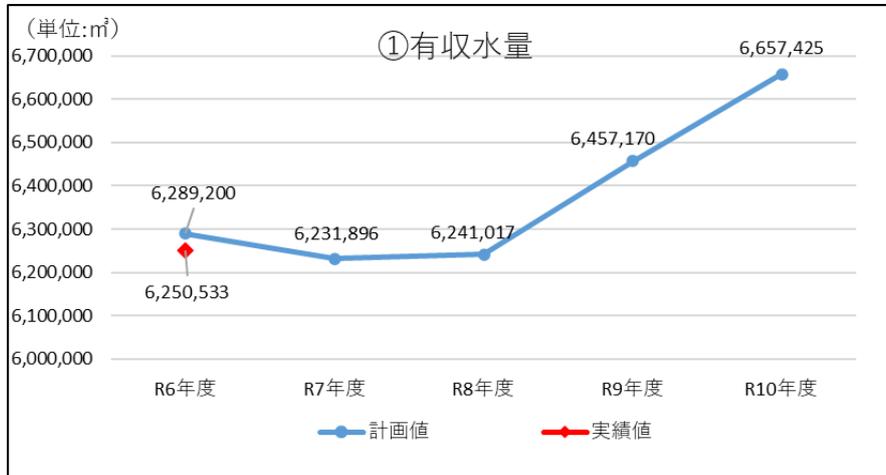
(2)有収水量、使用料収入、使用料単価及び汚水処理原価について

①有収水量

下水道使用料の徴収対象となる汚水の量

(単位:m³)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	6,289,200	6,231,896	6,241,017	6,457,170	6,657,425
※内訳 (公共)	4,491,359	4,492,023	4,486,966	4,773,004	4,969,272
(特環)	1,309,992	1,323,246	1,341,135	1,349,464	1,356,360
(農排)	485,812	414,590	410,879	332,736	329,827
(小排)	2,037	2,037	2,037	1,967	1,967
実績値 (合算)	6,250,533				
※内訳 (公共)	4,533,696				
(特環)	1,272,709				
(農排)	442,221				
(小排)	1,907				



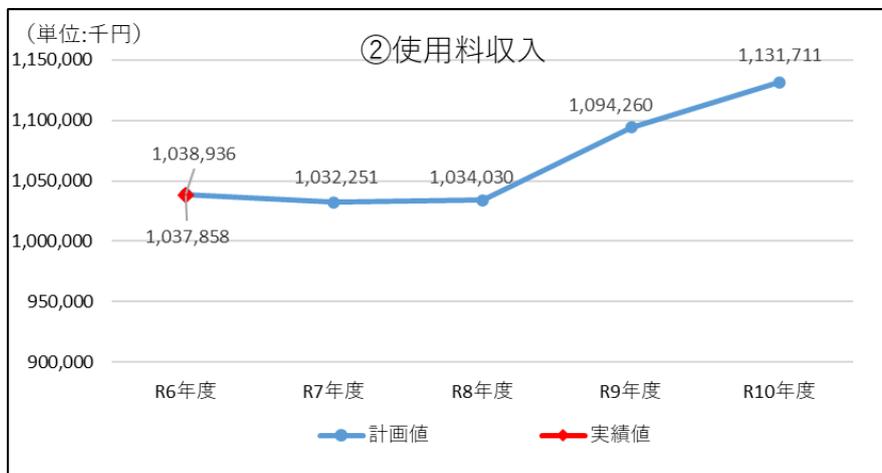
②使用料収入

下水道使用料、農業集落排水施設使用料等の収入状況

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	1,038,936	1,032,251	1,034,030	1,094,260	1,131,711
※内訳 (公共)	771,051	771,165	770,297	816,559	853,384
(特環)	207,048	209,121	212,230	225,581	226,660
(農排)	60,514	51,642	51,180	51,808	51,355
(小排)	323	323	323	312	312
実績値 (合算)	1,037,858				
※内訳 (公共)	780,608				
(特環)	201,941				
(農排)	55,007				
(小排)	302				

※税抜額



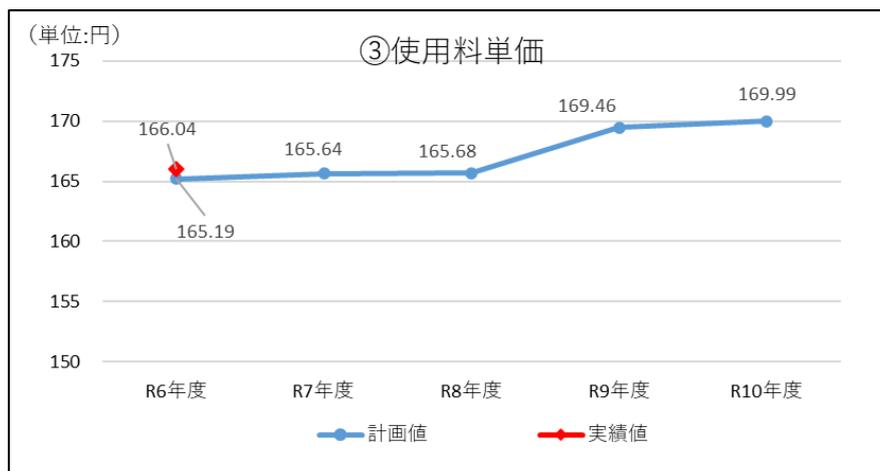
③使用料単価

1 m³あたりの下水道及び農業集落排水施設使用料

(単位:円/m³)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	165.19	165.64	165.68	169.46	169.99
※内訳 (公共)	171.67	171.67	171.67	171.08	171.73
(特環)	158.05	158.04	158.25	167.16	167.11
(農排)	124.56	124.56	124.56	155.70	155.70
(小排)	158.57	158.57	158.57	158.62	158.62
実績値 (合算)	166.04				
※内訳 (公共)	172.18				
(特環)	158.67				
(農排)	124.39				
(小排)	158.36				

※税抜額



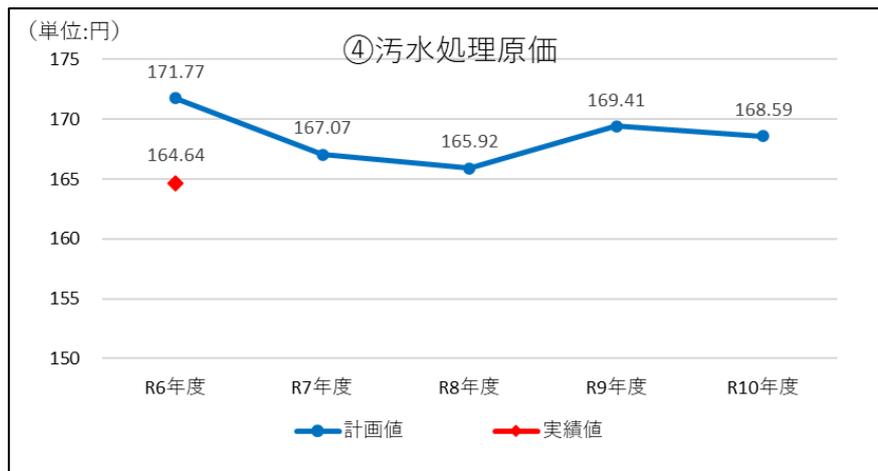
④汚水処理原価

1 m³の汚水を処理するのに要する費用

(単位:円/m³)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	171.77	167.07	165.92	169.41	168.59
※内訳 (公共)	171.70	168.96	167.26	169.29	168.20
(特環)	165.34	158.04	158.25	167.17	167.11
(農排)	189.46	175.09	176.00	179.73	180.23
(小排)	243.00	244.97	245.95	236.91	232.33
実績値 (合算)	164.64				
※内訳 (公共)	165.15				
(特環)	162.50				
(農排)	164.94				
(小排)	310.44				

※税抜額



【説明】

有収水量と使用料収入は、前年度実績値（令和5年度実績：有収水量 6,196,770 m³、使用料収入 1,023,373 千円）との比較では増加しているものの、計画値を下回りました。計画値を事業別に見た場合、温泉地を区域内に含む特定環境保全公共下水道で想定より使用水量の伸びが見られず、計画値を下回っています。計画では水洗化人口の増に伴い使用水量と使用料の漸増を見込んでいますが、計画値との乖離が懸念されるため、引き続き今後の実績値の推移を注視していきます。

使用料単価は、計画値を上回りました。公共下水道での使用水量及び使用料収入が堅調に推移したことなどが影響していると考えられます。

汚水処理原価は計画値を下回りました。これは、汚水処理に係る費用のうち、維持管理経費と減価償却費の決算額が計画値を下回ったことが主な要因です。使用料単価を下回ったため現状で原価割れは生じていませんが、その差は大きくありません。

なお、公共下水道の使用水量・使用料の増と農業集落排水の使用水量・使用料の減については、農業集落排水の公共下水道接続（広域化事業）により、農業集落排水の使用水量が公共下水道の使用水量に移行した影響があります。

3. 投資・財政計画の計画値と決算値の比較

令和6年度決算値（合算会計）について、経営戦略の投資・財政計画に示した計画値と比較したものが次の表です。なお、4つの事業（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、小規模集合排水処理）ごとの値については、末尾の資料を参照してください。

(1)収益的収支

合算会計		(単位:千円)			
年 度		R6年度	R6年度	差引	
区 分		(計画値)A	(決算値)B	(B-A)	
収 益 的 収 入	1. 営業収益 (A)	1,050,373	1,049,633	△ 740	
	(1) 料金収入	1,038,936	1,037,858	△ 1,078	
	(2) 受託工事収益 (B)				
	(3) その他	11,437	11,775	338	
	2. 営業外収益	2,437,694	2,461,441	23,747	
	(1) 補助金	732,069	736,002	3,933	
	他会計補助金	729,859	733,782	3,923	
	その他補助金	2,210	2,220	10	
	(2) 長期前受金戻入	1,705,625	1,715,799	10,174	
	(3) その他		9,640	9,640	
	収入計 (C)	3,488,067	3,511,074	23,007	
	収 益 的 支 出	1. 営業費用	2,969,989	2,945,890	△ 24,099
		(1) 職員給与費	122,004	119,053	△ 2,951
		基本給	53,023	54,313	1,290
退職給付費		12,122	11,838	△ 284	
その他		56,859	52,902	△ 3,957	
(2) 経費		673,060	658,373	△ 14,687	
動力費		62,988	57,638	△ 5,350	
修繕費		4,535	3,596	△ 939	
材料費		120	135	15	
その他		605,417	597,004	△ 8,413	
(3) 減価償却費		2,174,925	2,168,464	△ 6,461	
2. 営業外費用		513,003	515,999	2,996	
(1) 支払利息		510,238	512,704	2,466	
(2) その他		2,765	3,295	530	
支出計 (D)	3,482,992	3,461,889	△ 21,103		
経常損益 (C)-(D) (E)	5,075	49,185	44,110		
特別利益 (F)	21,298	25,255	3,957		
特別損失 (G)		147	147		
特別損益 (F)-(G) (H)	21,298	25,108	3,810		
当年度純利益(又は純損失) (E)+(H)	26,373	74,293	47,920		

(2)資本的収支

合算会計		(単位:千円)		
年 度		R6年度	R6年度	差引
区 分		(計画値)A	(決算値)B	(B-A)
資本的 収入	1. 企業債	2,670,300	2,078,500	△ 591,800
	うち資本費平準化債	400,000	300,000	△ 100,000
	2. 他会計出資金			
	3. 他会計補助金	1,359,673	1,355,898	△ 3,775
	4. 他会計負担金			
	5. 他会計借入金			
	6. 国(都道府県)補助金	1,074,763	720,418	△ 354,345
	7. 固定資産売却代金			
	8. 工事負担金	98,862	136,417	37,555
	9. その他	62	10	△ 52
	計 (A)	5,203,660	4,291,243	△ 912,417
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)			
	純計 (A)-(B) (C)	5,203,660	4,291,243	△ 912,417
	資本的 支出	1. 建設改良費	3,487,081	2,731,956
うち職員給与費		81,570	76,888	△ 4,682
2. 企業債償還金		2,128,729	2,128,729	
3. 他会計長期借入返還金				
4. 他会計への支出金				
5. その他		62	10	△ 52
計 (D)	5,615,872	4,860,695	△ 755,177	
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)		412,212	569,452	157,240
補填 財源	1. 損益勘定留保資金	273,276	366,389	93,113
	2. 利益剰余金処分別			
	3. 積立金取崩し額		110,000	110,000
	4. 繰越工事資金			
	5. その他	138,936	93,063	△ 45,873
計 (F)	412,212	569,452	157,240	
補填財源不足額 (E)-(F)				
他会計借入金残高 (G)				
企業債残高 (H)		39,303,215	38,711,414	△ 591,801

○他会計繰入金

年 度		R6年度	R6年度	差引
区 分		(計画値)A	(決算値)B	(B-A)
収益的収支分		741,267	745,527	4,260
	うち基準内繰入金	697,091	718,060	20,969
	うち基準外繰入金	44,176	27,467	△ 16,709
資本的収支分		1,359,673	1,355,898	△ 3,775
	うち基準内繰入金	185,739	186,009	270
	うち基準外繰入金	1,173,934	1,169,889	△ 4,045
合 計		2,100,940	2,101,425	485

4. 投資・財政計画の主な項目の推移

(1)収益的収支

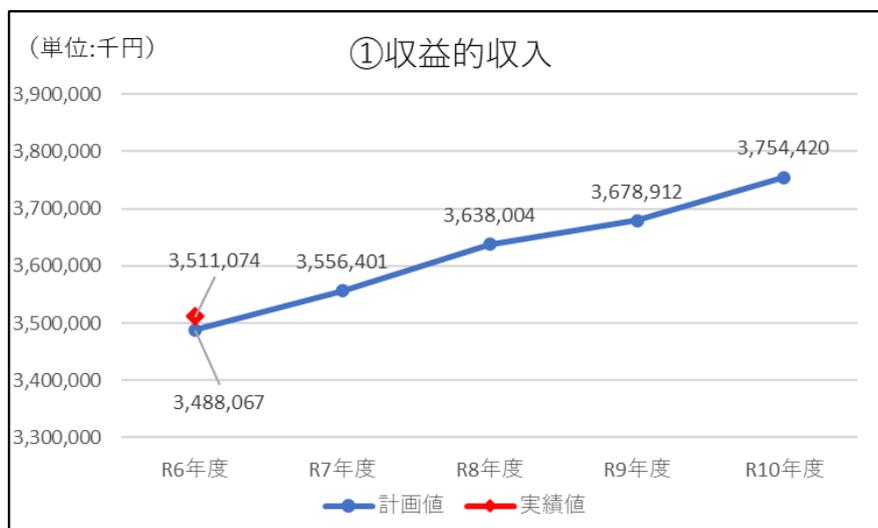
①収益的収入

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	3,488,067	3,556,401	3,638,004	3,678,912	3,754,420
※内訳 (公共)	2,216,969	2,346,626	2,410,562	2,494,459	2,570,080
(特環)	881,107	879,154	889,869	898,175	903,523
(農排)	386,756	327,424	334,414	283,173	277,751
(小排)	3,235	3,197	3,159	3,105	3,066
実績値 (合算)	3,511,074				
※内訳 (公共)	2,243,361				
(特環)	885,449				
(農排)	378,928				
(小排)	3,336				

※税抜額

※使用料収入の推移については、「2. 下水道事業の概況」(2)の②使用料収入 (5 ページ) を参照



【説明】

収益的収入については、計画値を上回りました。使用料収入は計画値より低かったものの、営業外収益で他会計補助金や雑収入（災害応援派遣等に対する人件費負担金収入など）により計画値を上回ったことで、収益的収入全体としても計画値を上回りました。

②収益的支出

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	3,482,992	3,540,934	3,614,907	3,667,074	3,733,538
※内訳 (公共)	2,214,828	2,332,202	2,388,523	2,483,720	2,550,301
(特環)	878,649	878,162	888,878	897,183	902,531
(農排)	386,284	327,374	334,349	283,067	277,641
(小排)	3,231	3,196	3,157	3,104	3,065
実績値 (合算)	3,461,889				
※内訳 (公共)	2,198,886				
(特環)	880,793				
(農排)	378,882				
(小排)	3,328				

※税抜額

※収益的支出の内訳

経費 (施設の維持管理経費)

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	673,060	680,341	689,808	698,894	707,705
※内訳 (公共)	389,501	403,506	409,153	427,170	434,446
(特環)	201,198	206,234	210,329	213,923	215,812
(農排)	81,885	70,120	69,843	57,330	56,973
(小排)	476	481	483	471	474
実績値 (合算)	658,373				
※内訳 (公共)	377,221				
(特環)	202,433				
(農排)	78,154				
(小排)	565				

支払利息

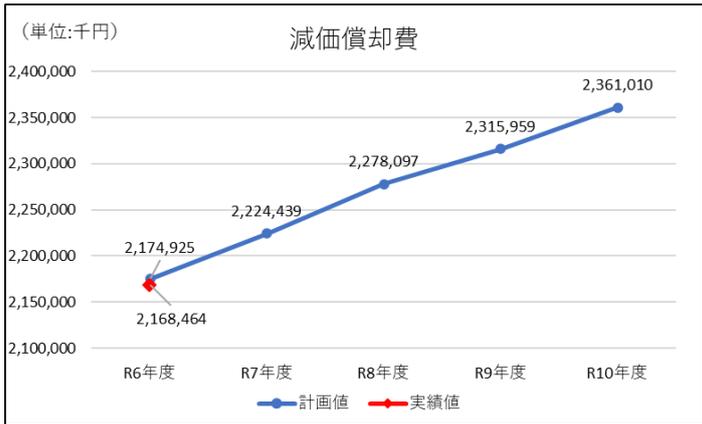
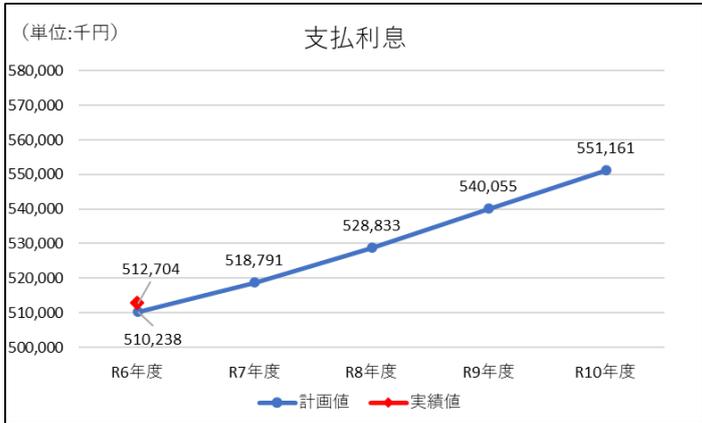
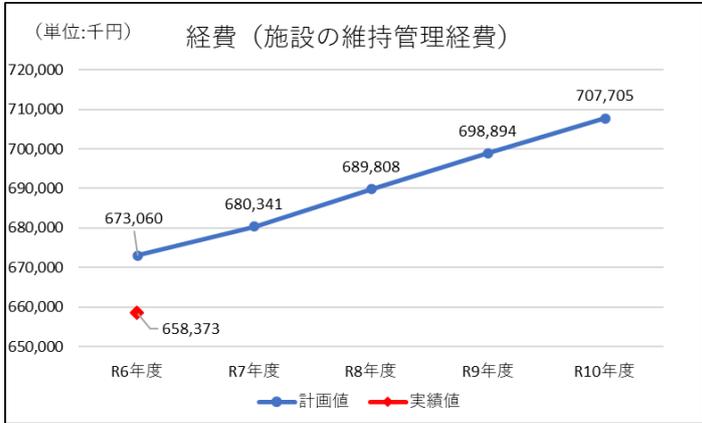
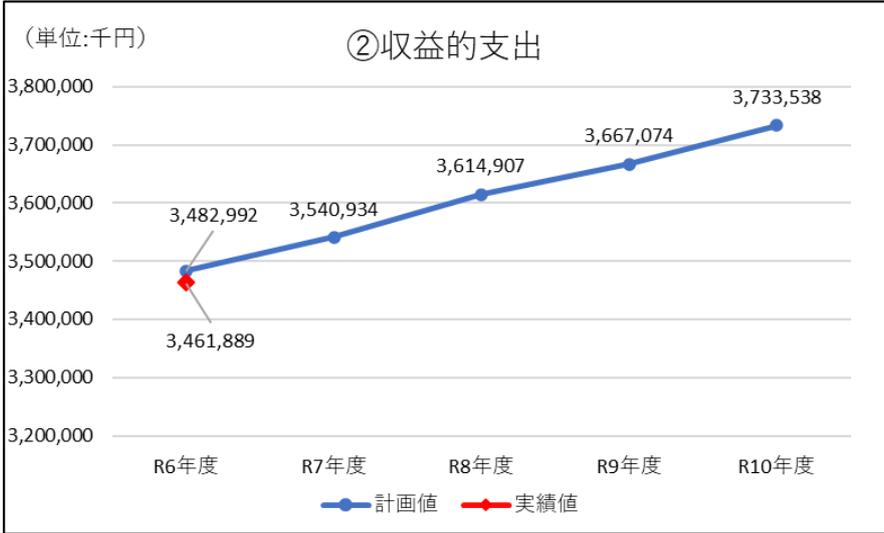
(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	510,238	518,791	528,833	540,055	551,161
※内訳 (公共)	349,317	368,594	380,435	395,538	408,870
(特環)	116,048	115,325	116,885	118,450	118,921
(農排)	44,088	34,127	30,809	25,404	22,749
(小排)	785	745	704	663	621
実績値 (合算)	512,704				
※内訳 (公共)	351,381				
(特環)	116,379				
(農排)	44,159				
(小排)	785				

減価償却費

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	2,174,925	2,224,439	2,278,097	2,315,959	2,361,010
※内訳 (公共)	1,353,740	1,445,238	1,483,265	1,551,345	1,595,822
(特環)	561,395	556,595	561,656	564,802	567,790
(農排)	257,839	220,655	231,225	197,861	195,447
(小排)	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951
実績値 (合算)	2,168,464				
※内訳 (公共)	1,350,756				
(特環)	560,763				
(農排)	254,994				
(小排)	1,951				



【説明】

収益的支出については、計画値を下回りました。要素別に見ると、支出のうち経費（施設の維持管理経費）と減価償却費が計画値を下回ったことが主な要因です。ただし、物価や人件費が上昇傾向にあり、現在の上昇率が経営戦略策定の試算に想定していた率（動力費・修繕費・委託料の経費：上昇率 0.74%/年、人件費：上昇率 0.1%/年）を上回っていることから、今後の経費（施設の維持管理経費）の動向を十分注視していく必要があります。

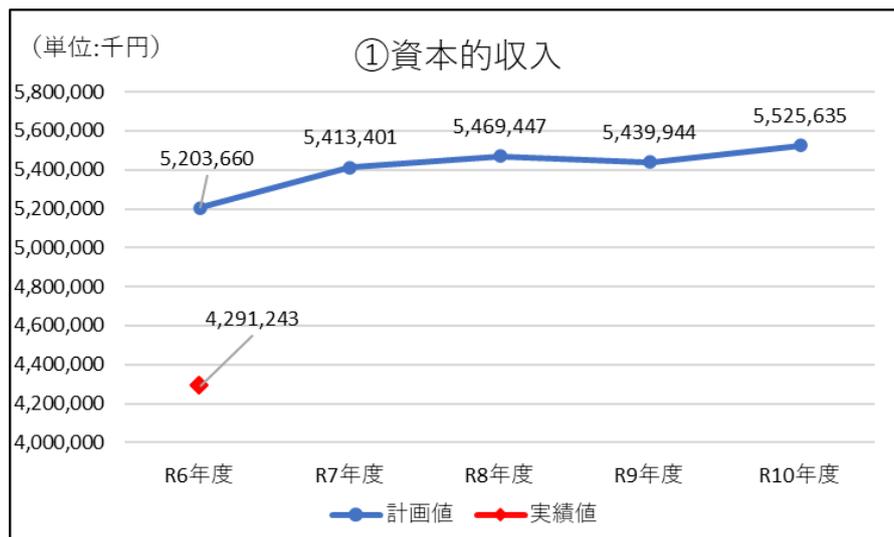
一方、支払利息は、計画値を上回りました。これは経営戦略策定の試算の際に想定していた企業債の借入利率（償還期間 40 年：利率 1.6%、償還期間 20 年：1.1%、償還期間 10 年：0.5%）に対し、実際の借入利率が上回ったことによるものです。現在の市場動向を見る限り金利は上昇傾向にあり、今後も支払利息は計画値を上回る値となることが予測されるため、引き続き計画値と実績値の乖離を注視していきます。

(2)資本的収支

①資本的収入

(単位:千円)

年度		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	(合算)	5,203,660	5,413,401	5,469,447	5,439,944	5,525,635
※内訳	(公共)	4,021,495	4,075,700	4,095,679	4,193,091	4,238,917
	(特環)	726,992	1,026,902	1,048,766	979,081	1,011,346
	(農排)	452,958	308,544	322,706	265,434	272,992
	(小排)	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
実績値	(合算)	4,291,243				
※内訳	(公共)	3,245,714				
	(特環)	741,007				
	(農排)	302,367				
	(小排)	2,155				



【説明】

資本的収入については、計画値を大きく下回りました。これは工事の一部を次年度に繰り越したことにより、令和6年度の建設改良費の投資額が当初見込んだ計画値より少なくなり、資本的収入の企業債借入額や国（県）補助金が減となったことが主な要因です。

②資本的支出

(単位:千円)

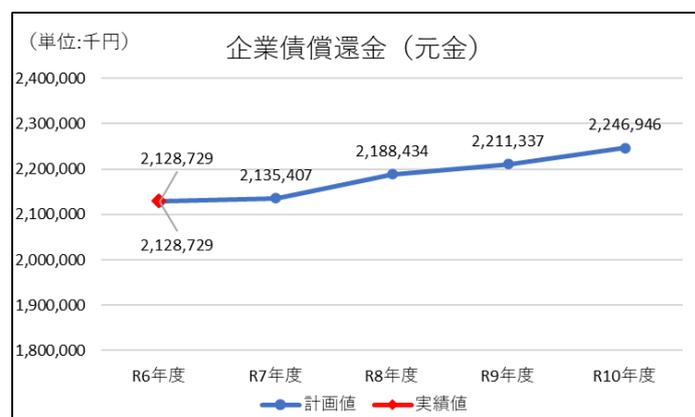
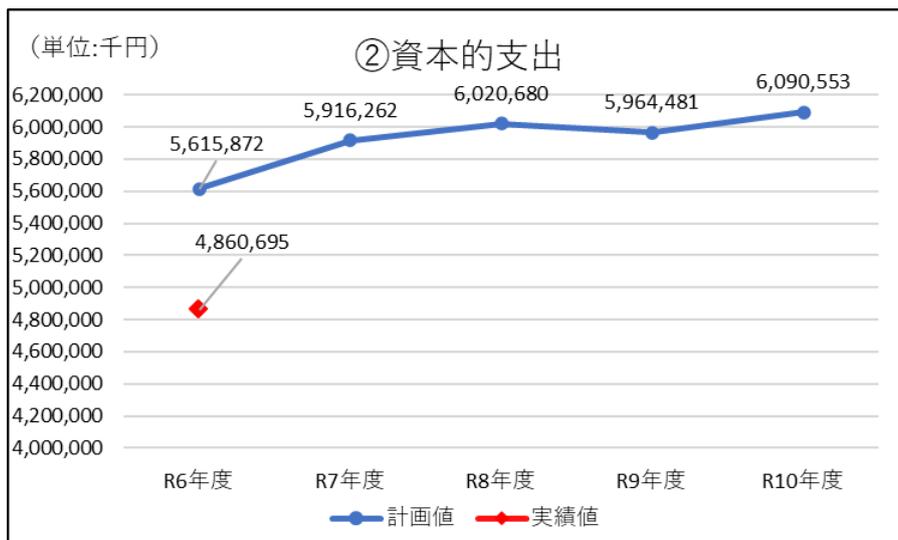
年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	5,615,872	5,916,262	6,020,680	5,964,481	6,090,553
※内訳 (公共)	4,266,588	4,406,540	4,467,136	4,542,627	4,630,684
(特環)	867,797	1,184,262	1,206,410	1,136,519	1,168,049
(農排)	479,272	323,205	344,838	282,997	289,440
(小排)	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
実績値 (合算)	4,860,695				
※内訳 (公共)	3,645,399				
(特環)	871,809				
(農排)	341,272				
(小排)	2,215				

※資本的支出の内訳

企業債償還金 (元金)

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	2,128,729	2,135,407	2,188,434	2,211,337	2,246,946
※内訳 (公共)	1,475,111	1,502,262	1,524,409	1,575,795	1,610,434
(特環)	404,097	415,536	435,436	444,406	452,880
(農排)	247,306	215,354	226,293	188,798	181,252
(小排)	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
実績値 (合算)	2,128,729				
※内訳 (公共)	1,475,111				
(特環)	404,097				
(農排)	247,306				
(小排)	2,215				



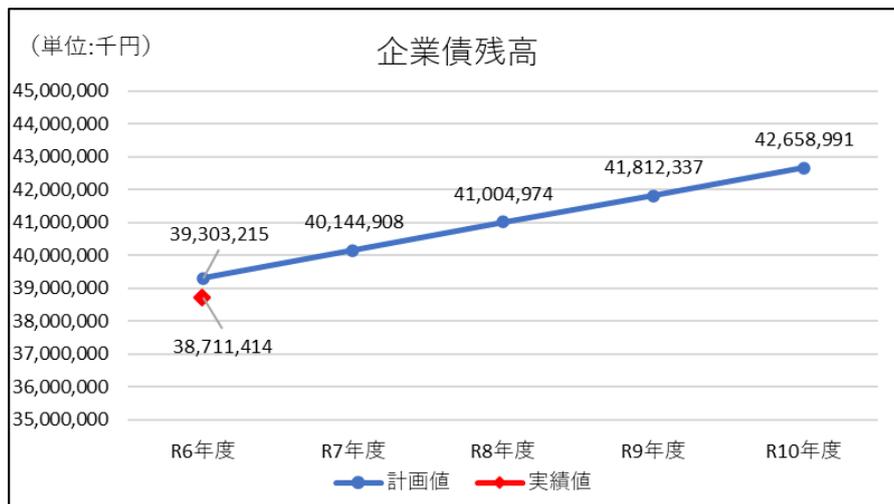
【説明】

資本的支出については計画値を大きく下回りました。これは工事の一部を次年度に繰り越したことにより、令和6年度の建設改良費の投資額が当初見込んだ計画値より少なくなったことが要因です。なお、資本的支出の要素のうち、企業債償還金(元金)については、計画値どおりの額となっています。

(3)企業債残高

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	39,303,215	40,144,908	41,004,974	41,812,337	42,658,991
※内訳 (公共)	28,369,392	29,557,816	30,478,307	31,544,391	32,469,157
(特環)	8,221,532	8,353,096	8,463,360	8,501,654	8,555,174
(農排)	2,670,256	2,194,216	2,025,823	1,731,146	1,601,894
(小排)	42,035	39,780	37,484	35,146	32,766
実績値 (合算)	38,711,414				
※内訳 (公共)	27,842,892				
(特環)	8,220,832				
(農排)	2,605,655				
(小排)	42,035				



【説明】

企業債残高については、計画値を下回りました。これは、工事の一部を次年度に繰り越したことにより、当該年度の建設改良費の支出額が当初計画値を下回り、企業債借入額も計画値を下回ったことが要因です。計画値を下回るものの依然として大きい額であり、過度の借入は事業経営を圧迫することから、借入の抑制に引き続き努めます。

5. 経営戦略の目標指標の状況

(1)汚水処理人口普及率

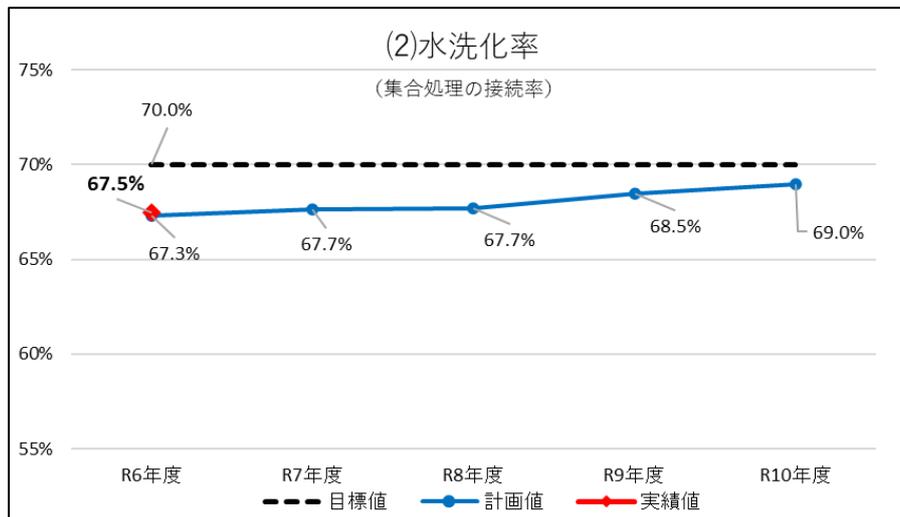
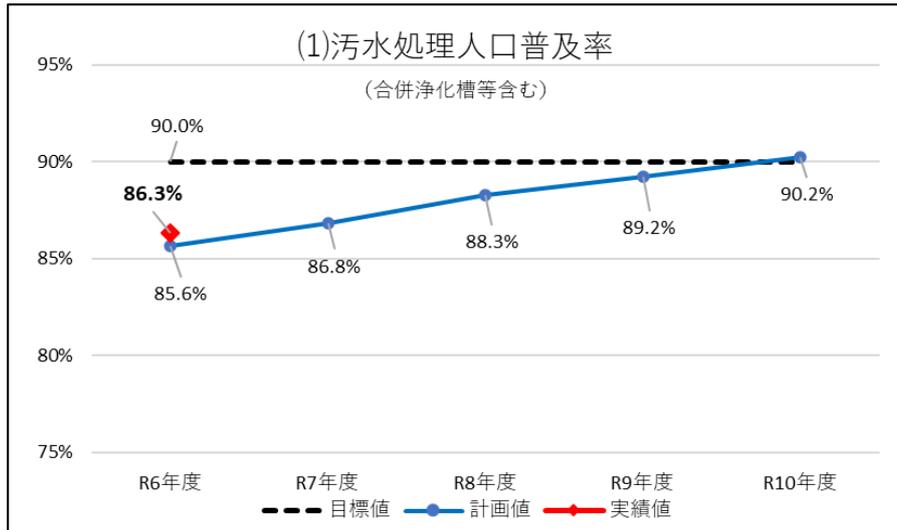
下水道、農業集落排水施設等及び合併処理浄化槽の汚水処理施設で処理している人口の割合を表した指標

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	85.6%	86.8%	88.3%	89.2%	90.2%
実績値	86.3%				
目標値	90.0%				

(2)水洗化率

現在処理区域内人口のうち、実際に下水道に接続して汚水処理している人口の割合を表した指標

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	67.3%	67.7%	67.7%	68.5%	69.0%
実績値	67.5%				
目標値	70.0%				



【説明】

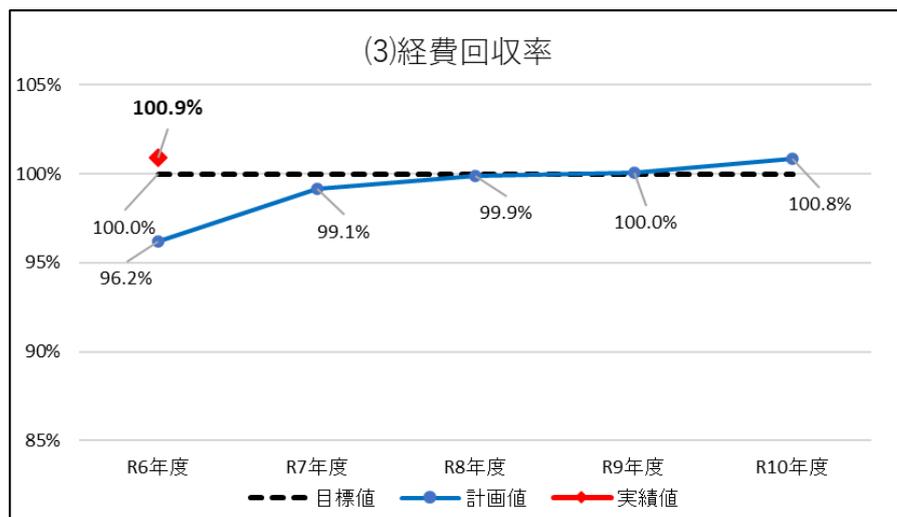
汚水処理人口普及率と水洗化率のいずれも、計画値を上回る値になりました。このことから、現在行っている下水道未普及整備工事と、整備後の新規接続件数について、一定の進捗がみられます。

今後も目標値を目指し、引き続き未普及対策事業と接続促進活動を継続していきます。

(3)経費回収率

使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	96.2%	99.1%	99.9%	100.0%	100.8%
※内訳(公共)	100.0%	101.6%	102.6%	101.1%	102.1%
(特環)	95.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(農排)	65.7%	71.1%	70.8%	86.6%	86.4%
(小排)	65.3%	64.7%	64.5%	67.0%	68.3%
実績値	100.9%				
※内訳(公共)	104.3%				
(特環)	97.6%				
(農排)	75.4%				
(小排)	51.0%				
目標値	100.0%				



【説明】

経費回収率については、100.9%（4事業合算の値）となり、計画値を上回りました。目標値の100%を上回りましたが、事業別に見ると100%を超えているのは公共下水道事業のみであり、その公共下水道事業の値についても、収益的収入の他会計繰入金（基準内）による影響が大きいです。引き続き経費回収率100%以上を維持できるように、収支のバランスを注視し事業を行っていきます。

(4)他会計繰入金

地方公営企業の経営基盤を強化するための財政措置（基準内繰入金）及び収入不足を補うもの（基準外繰入金）として、一般会計から繰り入れている財源

(単位：千円)

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	741,267	783,859	825,111	781,764	787,420
	うち基準内繰入金	697,091	761,682	802,731	772,509	778,074
	うち基準外繰入金	44,176	22,177	22,380	9,255	9,346
	実績値	745,527				
	うち基準内繰入金	718,060				
	うち基準外繰入金	27,467				
資 本 的 収 支 分	計画値	1,359,673	1,317,081	1,275,829	1,319,176	1,313,520
	うち基準内繰入金	185,739	181,605	181,555	189,232	176,729
	うち基準外繰入金	1,173,934	1,135,476	1,094,274	1,129,944	1,136,791
	実績値	1,355,898				
	うち基準内繰入金	186,009				
	うち基準外繰入金	1,169,889				
合 計	計画値	2,100,940	2,100,940	2,100,940	2,100,940	2,100,940
	うち基準内繰入金	882,830	943,287	984,286	961,741	954,803
	うち基準外繰入金	1,218,110	1,157,653	1,116,654	1,139,199	1,146,137
	実績値	2,101,425				
	うち基準内繰入金	904,069				
	うち基準外繰入金	1,197,356				

※合算会計の値（事業ごとの値については巻末に掲載）

(5)資本費平準化債借入額

財源を補填するために借り入れた資本費平準化債の額

(単位：千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	400,000	400,000	450,000	450,000	450,000
実績値	300,000				

【説明】

他会計繰入金総額の予算規模は計画値と同規模で、そのうち基準外繰入金については、計画値を下回りました。基準内繰入金の収入決算額が計画値を上回ったこと等により、基準外繰入金の収入決算額が計画値より少なくなったものです。

また、資本費平準化債の借入額については、計画値を下回りました。資本費平準化債は事業を運営する上で必要な財源ですが、過大な借入は後年度の利息負担が大きくなるため、適正額を都度見極めていきます。

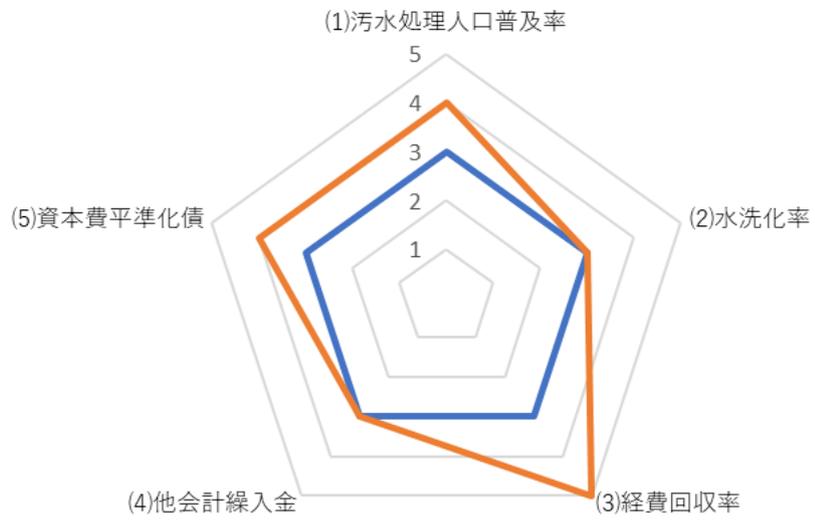
【目標指標の達成状況】

以上の(1)から(5)の目標指標の達成状況について、評価基準を次のように設定し、評価を行いました。

目標指標	評価基準	実績値/計画値 の比	令和6年度の 評価値
(1)汚水処理人口普及率	実績値/計画値 の比が 101%以上 :5	100.8%	4
(2)水洗化率	100.5%以上 101%未満 :4 100%以上 100.5%未満 :3	100.3%	3
(3)経費回収率	99%以上 100%未満 :2 99%未満 :1	104.8%	5
(4)他会計繰入金	他会計繰入金のうち、基準外繰入金の 実績値/計画値 の比が 0% :5 0%より大きく 95%未満 :4 95%以上 100%以下 :3 100%より大きく 105%未満 :2 105%以上 :1	98.3%	3
(5)資本費平準化債	実績値/計画値の比が 0% :5 0%より大きく 80%未満 :4 80%以上 100%以下 :3 100%より大きく 125%未満 :2 125%以上 :1	75.0%	4

目標指標の達成状況

— R6計画値 — R6実績値



6. 総括

収益的収入については計画に比べ 23,007 千円増加し、収益的支出については計画に比べ 21,103 千円減少しました。結果として経常利益は計画より大きくなりましたが、これは、営業外収益の増などが影響しており、使用料収入自体は経営戦略策定時の計画値と同水準の収入となっています。

資本的収入については計画に比べ 912,417 千円減少し、資本的支出については計画に比べ 755,177 千円減少しました。これは工事の一部を次年度に繰り越したことにより、令和 6 年度の建設改良費の投資額が当初見込んだ計画値より少なくなり、その財源である企業債や国（県）補助金も減となったことなどが要因です。

投資・財政計画の主な項目の推移をみると、経費（施設の維持管理経費）や減価償却費では計画値を下回っていますが、支払利息では経営戦略策定時よりも借入利率が上昇したために計画値を上回りました。人件費や物価についても予測以上に上昇傾向にあることから、今後は経費（施設の維持管理経費）についても増加が見込まれます。また、企業債残高は計画値との比較で減となっていますが、下水道の建設事業の財源を企業債の新規借入に求める状況は今後も続き、未普及整備事業が完了するまでの間は、企業債残高及び毎年度の企業債償還額が漸増していくことが見込まれるため、引き続き注視していきます。

経営戦略の目標指標については、「経費回収率」が健全経営の水準である 100%を超えています。また、「污水处理人口普及率」・「水洗化率」については、現在本市で行っている未普及整備の成果として、順調に数値の上昇がみられます。掲げた目標値を達成できるよう、引き続き未普及整備の取組を続けていきます。

収入と支出の適正なバランスをとりながら事業を継続していくため、今後も適切な経営分析を行い、健全な事業運営に取り組んでいきます。

【資料】投資・財政計画 計画値・決算値比較（事業別）

7 ページに掲載した投資・財政計画の計画値と決算値の比較（合算会計）について、4 事業（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、小規模集合排水処理）ごとの投資・財政計画の値を資料として掲載します。

公共下水道事業		(単位:千円)		
年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
区 分				
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)	782,225	792,120	9,895
	(1) 料 金 収 入	771,051	780,608	9,557
	(2) 受 託 工 事 収 益 (B)			
	(3) そ の 他	11,174	11,512	338
	2. 営 業 外 収 益	1,434,744	1,451,241	16,497
	(1) 補 助 金	392,998	396,320	3,322
	他 会 計 補 助 金	390,788	394,100	3,312
	そ の 他 補 助 金	2,210	2,220	10
	(2) 長 期 前 受 金 戻 入	1,041,746	1,045,616	3,870
	(3) そ の 他		9,305	9,305
	収 入 計 (C)	2,216,969	2,243,361	26,392
収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用	1,865,245	1,847,030	△ 18,215
	(1) 職 員 給 与 費	122,004	119,053	△ 2,951
	基 本 給	53,023	54,313	1,290
	退 職 給 付 費	12,122	11,838	△ 284
	そ の 他	56,859	52,902	△ 3,957
	(2) 経 費	389,501	377,221	△ 12,280
	動 力 費	9,059	9,991	932
	修 繕 費	1,082	907	△ 175
	材 料 費	120	135	15
	そ の 他	379,240	366,188	△ 13,052
(3) 減 価 償 却 費	1,353,740	1,350,756	△ 2,984	
2. 営 業 外 費 用	349,583	351,856	2,273	
(1) 支 払 利 息	349,317	351,381	2,064	
(2) そ の 他	266	475	209	
	支 出 計 (D)	2,214,828	2,198,886	△ 15,942
	経 常 損 益 (C)-(D) (E)	2,141	44,475	42,334
	特 別 利 益 (F)	21,298	21,523	225
	特 別 損 失 (G)		147	147
	特 別 損 益 (F)-(G) (H)	21,298	21,376	78
	当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)	23,439	65,851	42,412

公共下水道事業

(単位:千円)

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
資 本 的 收 入	資 本 的 收 入	1. 企 業 債		2,200,900	1,674,400	△ 526,500
		うち 資本費平準化債		400,000	300,000	△ 100,000
		2. 他 会 計 出 資 金				
		3. 他 会 計 補 助 金		890,836	898,573	7,737
		4. 他 会 計 負 担 金				
		5. 他 会 計 借 入 金				
		6. 国 (都 道 府 県) 補 助 金		841,080	567,600	△ 273,480
		7. 固 定 資 産 売 却 代 金				
		8. 工 事 負 担 金		88,617	105,131	16,514
		9. そ の 他		62	10	△ 52
		計 (A)		4,021,495	3,245,714	△ 775,781
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)				
		純 計 (A)-(B) (C)		4,021,495	3,245,714	△ 775,781
資 本 的 支 出	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費		2,791,415	2,170,278	△ 621,137
		うち 職員給与費		81,570	76,888	△ 4,682
		2. 企 業 債 償 還 金		1,475,111	1,475,111	
		3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金				
		4. 他 会 計 へ の 支 出 金				
		5. そ の 他		62	10	△ 52
計 (D)		4,266,588	3,645,399	△ 621,189		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)				245,093	399,685	154,592
補 填 財 源	補 填 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金		126,131	226,022	99,891
		2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				
		3. 積 立 金 取 崩 し 額			80,600	80,600
		4. 繰 越 工 事 資 金				
		5. そ の 他		118,962	93,063	△ 25,899
計 (F)		245,093	399,685	154,592		
補填財源不足額 (E)-(F)						
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)						
企 業 債 残 高 (H)				28,369,392	27,842,892	△ 526,500

○他会計繰入金

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
収益的収支分				401,933	405,582	3,649
	うち 基準内繰入金			401,933	405,582	3,649
	うち 基準外繰入金					
資本的収支分				890,836	898,573	7,737
	うち 基準内繰入金			148,451	148,720	269
	うち 基準外繰入金			742,385	749,853	7,468
合 計				1,292,769	1,304,155	11,386

特定環境保全公共下水道事業

(単位:千円)

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)	
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)			207,311	202,204	△ 5,107	
		(1) 料 金 収 入		207,048	201,941	△ 5,107	
		(2) 受託工事収益 (B)					
	(3) そ の 他			263	263		
		2. 営 業 外 収 益		673,796	683,245	9,449	
		(1) 補 助 金		240,552	247,274	6,722	
	他 会 計 補 助 金			240,552	247,274	6,722	
		そ の 他 補 助 金					
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入		433,244	435,914	2,670	
	(3) そ の 他			57	57		
	収 入 計 (C)		881,107	885,449	4,342		
	収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用			762,593	763,196	603
			(1) 職 員 給 与 費				
			基 本 給 与 費				
退 職 給 付 費							
そ の 他							
(2) 経 費			201,198	202,433	1,235		
動 力 費			31,829	28,700	△ 3,129		
修 繕 費			1,957	1,978	21		
材 料 費							
そ の 他			167,412	171,755	4,343		
(3) 減 価 償 却 費			561,395	560,763	△ 632		
2. 営 業 外 費 用			116,056	117,597	1,541		
(1) 支 払 利 息			116,048	116,379	331		
(2) そ の 他			8	1,218	1,210		
支 出 計 (D)		878,649	880,793	2,144			
経 常 損 益 (C)-(D) (E)		2,458	4,656	2,198			
特 別 利 益 (F)			3,732	3,732			
特 別 損 失 (G)							
特 別 損 益 (F)-(G) (H)			3,732	3,732			
当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)		2,458	8,388	5,930			

特定環境保全公共下水道事業

(単位:千円)

区 分		年 度	R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
資 本 的 収 入	資 本 的 収 入	1. 企 業 債	355,900	355,200	△ 700
		うち資本費平準化債			
		2. 他 会 計 出 資 金			
		3. 他 会 計 補 助 金	253,547	266,147	12,600
		4. 他 会 計 負 担 金			
		5. 他 会 計 借 入 金			
		6. 国(都道府県)補助金	107,800	108,806	1,006
		7. 固定資産売却代金			
		8. 工 事 負 担 金	9,745	10,854	1,109
		9. そ の 他			
		計 (A)	726,992	741,007	14,015
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)			
		純 計 (A)-(B) (C)	726,992	741,007	14,015
		資 本 的 支 出	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	463,700
うち職員給与費					
2. 企 業 債 償 還 金	404,097			404,097	
3. 他会計長期借入返還金					
4. 他 会 計 へ の 支 出 金					
5. そ の 他					
計 (D)	867,797	871,809	4,012		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)		(D)-(C)	140,805	130,802	△ 10,003
補 填 財 源	補 填 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	121,743	129,102	7,359
		2. 利 益 剰 余 金 処 分 額			
		3. 積 立 金 取 崩 し 額		1,700	1,700
		4. 繰 越 工 事 資 金			
		5. そ の 他	19,062		△ 19,062
計 (F)	140,805	130,802	△ 10,003		
補填財源不足額 (E)-(F)					
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)					
企 業 債 残 高 (H)			8,221,532	8,220,832	△ 700

○他会計繰入金

区 分		年 度	R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
収 益 的 収 支 分	収 益 的 収 支 分		240,815	247,537	6,722
		うち基準内繰入金	228,815	238,068	9,253
		うち基準外繰入金	12,000	9,469	△ 2,531
資 本 的 収 支 分	資 本 的 収 支 分		253,547	266,147	12,600
		うち基準内繰入金	8,547	8,548	1
		うち基準外繰入金	245,000	257,599	12,599
合 計			494,362	513,684	19,322

農業集落排水事業

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)		
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)			60,514	55,007	△ 5,507		
		(1) 料 金 収 入		60,514	55,007	△ 5,507		
		(2) 受託工事収益 (B)						
	(3) そ の 他							
	2. 営 業 外 収 益			326,242	323,921	△ 2,321		
		(1) 補 助 金			97,521	91,288	△ 6,233	
			他 会 計 補 助 金		97,521	91,288	△ 6,233	
			そ の 他 補 助 金					
	(2) 長 期 前 受 金 戻 入		228,721	232,355	3,634			
	(3) そ の 他			278	278			
	収 入 計 (C)			386,756	378,928	△ 7,828		
	収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用			339,724	333,148	△ 6,576	
			(1) 職 員 給 与 費					
				基 本 給				
退 職 給 付 費								
そ の 他								
(2) 経 費				81,885	78,154	△ 3,731		
		動 力 費		21,992	18,837	△ 3,155		
		修 繕 費		1,496	711	△ 785		
		材 料 費						
そ の 他			58,397	58,606	209			
(3) 減 価 償 却 費		257,839	254,994	△ 2,845				
2. 営 業 外 費 用			46,560	45,734	△ 826			
	(1) 支 払 利 息		44,088	44,159	71			
	(2) そ の 他		2,472	1,575	△ 897			
支 出 計 (D)			386,284	378,882	△ 7,402			
経 常 損 益 (C)-(D) (E)			472	46	△ 426			
特 別 利 益 (F)								
特 別 損 失 (G)								
特 別 損 益 (F)-(G) (H)								
当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)			472	46	△ 426			

農業集落排水事業

(単位:千円)

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)	
資 本 的 收 入	1. 企 業 債			113,500	48,900	△ 64,600	
		うち資本費平準化債					
		2. 他 会 計 出 資 金					
		3. 他 会 計 補 助 金			213,075	189,023	△ 24,052
		4. 他 会 計 負 担 金					
		5. 他 会 計 借 入 金					
		6. 国(都道府県)補助金			125,883	44,012	△ 81,871
		7. 固定資産売却代金					
		8. 工 事 負 担 金			500	20,432	19,932
	9. そ の 他						
	計 (A)			452,958	302,367	△ 150,591	
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)						
	純計 (A)-(B) (C)			452,958	302,367	△ 150,591	
資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費			231,966	93,966	△ 138,000	
		うち職員給与費					
	2. 企 業 債 償 還 金			247,306	247,306		
	3. 他会計長期借入返還金						
	4. 他会計への支出金						
	5. そ の 他						
計 (D)			479,272	341,272	△ 138,000		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)				26,314	38,905	12,591	
補 填 財 源	1. 損益勘定留保資金			25,402	11,205	△ 14,197	
	2. 利益剰余金処分額						
	3. 積立金取崩し額				27,700	27,700	
	4. 繰越工事資金						
	5. そ の 他			912		△ 912	
計 (F)			26,314	38,905	12,591		
補填財源不足額 (E)-(F)							
他会計借入金残高 (G)							
企業債残高 (H)				2,670,256	2,605,655	△ 64,601	

○他会計繰入金

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
収益的収支分				97,521	91,288	△ 6,233
	うち基準内繰入金			65,521	73,588	8,067
	うち基準外繰入金			32,000	17,700	△ 14,300
資本的収支分				213,075	189,023	△ 24,052
	うち基準内繰入金			28,075	28,075	
	うち基準外繰入金			185,000	160,948	△ 24,052
合 計				310,596	280,311	△ 30,285

小規模集合排水処理事業

(単位:千円)

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)	
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)			323	302	△ 21	
		(1) 料 金 収 入		323	302	△ 21	
		(2) 受 託 工 事 収 益 (B)					
	(3) そ の 他						
	2. 営 業 外 収 益			2,912	3,034	122	
		(1) 補 助 金		998	1,120	122	
			他 会 計 補 助 金		998	1,120	122
			そ の 他 補 助 金				
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入		1,914	1,914		
	(3) そ の 他						
		収 入 計 (C)		3,235	3,336	101	
	収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用		2,427	2,516	89	
			(1) 職 員 給 与 費				
				基 本 給			
退 職 給 付 費							
そ の 他							
(2) 経 費			476	565	89		
		動 力 費		108	110	2	
		修 繕 費					
		材 料 費					
そ の 他			368	455	87		
(3) 減 価 償 却 費		1,951	1,951				
2. 営 業 外 費 用		804	812	8			
	(1) 支 払 利 息		785	785			
	(2) そ の 他		19	27	8		
	支 出 計 (D)		3,231	3,328	97		
	経 常 損 益 (C)-(D) (E)		4	8	4		
	特 別 利 益 (F)						
	特 別 損 失 (G)						
	特 別 損 益 (F)-(G) (H)						
	当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)		4	8	4		

小規模集合排水処理事業

(単位:千円)

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
資 本 的 収 入	資 本 的 収 入	1. 企 業 債				
		うち資本費平準化債				
		2. 他 会 計 出 資 金				
		3. 他 会 計 補 助 金	2,215	2,155	△ 60	
		4. 他 会 計 負 担 金				
		5. 他 会 計 借 入 金				
		6. 国 (都 道 府 県) 補 助 金				
		7. 固 定 資 産 売 却 代 金				
		8. 工 事 負 担 金				
	9. そ の 他					
	計 (A)	2,215	2,155	△ 60		
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)					
	純計 (A)-(B) (C)	2,215	2,155	△ 60		
	資 本 的 支 出	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費			
うち職員給与費						
2. 企 業 債 償 還 金			2,215	2,215		
3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金						
4. 他 会 計 へ の 支 出 金						
5. そ の 他						
計 (D)	2,215	2,215				
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)					60	60
補 填 財 源	補 填 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金			60	60
		2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				
		3. 積 立 金 取 崩 し 額				
		4. 繰 越 工 事 資 金				
		5. そ の 他				
計 (F)		60	60			
補填財源不足額 (E)-(F)						
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)						
企 業 債 残 高 (H)		42,035	42,035			

○他会計繰入金

区 分		年 度		R6年度 (計画値)A	R6年度 (決算値)B	差引 (B-A)
収益的収支分		998	1,120			122
	うち基準内繰入金	822	822			
	うち基準外繰入金	176	298			122
資本的収支分		2,215	2,155			△ 60
	うち基準内繰入金	666	666			
	うち基準外繰入金	1,549	1,489			△ 60
合 計		3,213	3,275			62

【資料】目標指標(4) 他会計繰入金 計画値・実績値検証（事業別）

17ページに掲載した他会計繰入金の計画値と決算値の検証（合算会計）について、4事業（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、小規模集合排水処理）ごとの値を資料として掲載します。

①公共下水道事業

（単位：千円）

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 入	計画値	401,933	462,007	500,062	487,658	494,405
	うち基準内繰入金	401,933	462,007	500,062	487,658	494,405
	うち基準外繰入金	0	0	0	0	0
収 支 分	実績値	405,582				
	うち基準内繰入金	405,582				
	うち基準外繰入金	0				
資 本 的 収 入	計画値	890,836	867,690	798,867	865,539	855,649
	うち基準内繰入金	148,451	143,791	146,199	157,230	150,522
	うち基準外繰入金	742,385	723,899	652,668	708,309	705,127
収 支 分	実績値	898,573				
	うち基準内繰入金	148,720				
	うち基準外繰入金	749,853				
合 計	計画値	1,292,769	1,329,697	1,298,929	1,353,197	1,350,054
	うち基準内繰入金	550,384	605,798	646,261	644,888	644,927
	うち基準外繰入金	742,385	723,899	652,668	708,309	705,127
合 計	実績値	1,304,155				
	うち基準内繰入金	554,302				
	うち基準外繰入金	749,853				

②特定環境保全公共下水道事業

（単位：千円）

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 入	計画値	240,815	241,691	246,068	238,249	240,087
	うち基準内繰入金	228,815	240,691	245,068	237,249	239,087
	うち基準外繰入金	12,000	1,000	1,000	1,000	1,000
収 支 分	実績値	247,537				
	うち基準内繰入金	238,068				
	うち基準外繰入金	9,469				
資 本 的 収 入	計画値	253,547	258,682	278,350	287,640	297,079
	うち基準内繰入金	8,547	8,682	8,350	7,640	7,079
	うち基準外繰入金	245,000	250,000	270,000	280,000	290,000
収 支 分	実績値	266,147				
	うち基準内繰入金	8,548				
	うち基準外繰入金	257,599				
合 計	計画値	494,362	500,373	524,418	525,889	537,166
	うち基準内繰入金	237,362	249,373	253,418	244,889	246,166
	うち基準外繰入金	257,000	251,000	271,000	281,000	291,000
合 計	実績値	513,684				
	うち基準内繰入金	246,616				
	うち基準外繰入金	267,068				

③農業集落排水事業

(単位：千円)

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	97,521	79,201	78,059	54,978	52,088
	うち基準内繰入金	65,521	58,201	56,859	46,878	43,888
	うち基準外繰入金	32,000	21,000	21,200	8,100	8,200
	実績値	91,288				
	うち基準内繰入金	73,588				
	うち基準外繰入金	17,700				
資 本 的 収 支 分	計画値	213,075	188,454	196,316	163,659	158,412
	うち基準内繰入金	28,075	28,454	26,316	23,659	18,412
	うち基準外繰入金	185,000	160,000	170,000	140,000	140,000
	実績値	189,023				
	うち基準内繰入金	28,075				
	うち基準外繰入金	160,948				
合 計	計画値	310,596	267,655	274,375	218,637	210,500
	うち基準内繰入金	93,596	86,655	83,175	70,537	62,300
	うち基準外繰入金	217,000	181,000	191,200	148,100	148,200
	実績値	280,311				
	うち基準内繰入金	101,663				
	うち基準外繰入金	178,648				

④小規模集合排水処理事業

(単位：千円)

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	998	960	922	879	840
	うち基準内繰入金	822	783	742	724	694
	うち基準外繰入金	176	177	180	155	146
	実績値	1,120				
	うち基準内繰入金	822				
	うち基準外繰入金	298				
資 本 的 収 支 分	計画値	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
	うち基準内繰入金	666	678	690	703	716
	うち基準外繰入金	1,549	1,577	1,606	1,635	1,664
	実績値	2,155				
	うち基準内繰入金	666				
	うち基準外繰入金	1,489				
合 計	計画値	3,213	3,215	3,218	3,217	3,220
	うち基準内繰入金	1,488	1,461	1,432	1,427	1,410
	うち基準外繰入金	1,725	1,754	1,786	1,790	1,810
	実績値	3,275				
	うち基準内繰入金	1,488				
	うち基準外繰入金	1,787				

【資料】下水道課職員数の推移

(単位：人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	30	30	30	28	28
※内訳 (損益勘定)	17	17	17	16	16
(資本勘定)	13	13	13	12	12
実績値	29				
※内訳 (損益勘定)	17				
(資本勘定)	12				